



沖繩科学技術大学院大学^{オイスト}(OIST) 研修!

科学の新たなフロンティアを開拓するため、60以上の国と地域から研究者が集まり、科学分野の垣根を越えて研究を行っている先駆的な大学があるのをご存じですか？それが「沖繩科学技術大学院大学(OIST)」です。この大学のスバンテ・ペーボ教授が2022年にノーベル生理学・医学賞を受賞されたことで一躍有名になった、あの大学です。研究スタッフの半数以上が外国籍であり、学内の公用語が英語であることでも知られています。そんな時代の最先端であるOISTに、本校3年生の有志18名が研修に行ってきました。



英語での研究発表と質疑応答!

本校理数科3年生は6月に英語でのプレゼンテーションおよび質疑応答に挑戦しています(English Research Presentation Trial)。その成果を披露すべく、初日はOISTの留学生の方に自分たちの研究成果を英語で発表しました。その後、質疑応答もすべて英語で行いました。本校学校設定科目(青鵠(せいじゃく)課題研究AP)で留学生のみなさんに英語の指導を受けた成果を発揮し、OISTのみなさんから「公立の高校とは思えないくらい英語が上手!」と褒めていただきました。研究内容についてもコメントをいただいて、その知見の広さやアドバイスの的確さにとても驚きました。



発表会終了後は留学生のみなさんとお話する時間をいただきました。実際に研究を行っている博士課程の方の声を生で聴くことができ、参加した生徒たちは「今後の進路や人生を考える上でとても参考になった!」と感想を述べていました。「将来はOISTで研究したい!」と本気で考えた生徒も少なからず(かなり?!)いたようです(*^^*)



OIST Innovation Incubator!

OISTは国内および海外のスタートアップ企業と連携・支援していることでも知られています。その支援を受けていらっしゃるお一人であるインド出身のNarayan様から、ご自身で企業されたEF Polymer社について講演していただきました。また、開発された新しい高吸水性樹脂で実験も行いました。生徒たちの中には起業するという発想が無かった人もいて、自分の将来について強い刺激を受けていました。Narayan様に続け!

青鵲課題研究AP 『SDGs Fieldwork in 恩納村!』

二日目の午後は沖縄屈指のリゾート地である恩納村にて、サンゴをはじめとする環境保全の活動について現地研修を行いました。生徒たちは今までSDGsを耳にしたことはあっても実際の取り組みについて学んだり体験したりしたことはほとんどありませんでした。このように実体験を通して学ぶことができたことは、これから社会問題を解決する科学技術人材になっていく生徒たちにとってとても貴重な、もしかしたら人生を変える経験になったようです。

2泊3日の研修を終えて(参加した生徒の感想)

この3日間の研修を通じて、私たちは沖縄という独特の環境と風土の中で、大学院で国際的に研究活動を行う博士課程の学生さんや、沖縄を拠点に実際にSDGs達成に取り組む方々の生の姿を見たり、現地ではしかできない数多くの活動を体験したりすることができました。この経験は将来、自分たちの進路選択であったり、社会貢献のための選択肢を増やしたりする上で、とても重要や役割をもつことになると思います。この経験を最大限に活かし、今後、自分たちのなりたい自分、自分にしかできない社会貢献の形を見いだしていきたいと思います。

最後に、今回の研修旅行を企画して下さいました先生方並びに講演会の皆様、本当にありがとうございました。また、後輩のみなさんが自分も研修に参加したいと感じてくれたら幸いです。

